

2021年度 学年別園内研修（5歳児） 保育をみよう 保育をかたろう

＊公開保育は中止→拡大園内研修を実施

学び続けるコミュニティを広げるべく、

小学校や他園の先生方とオンラインで繋がってみました。

午前中は、5歳児の保育を他学年や小学校の教諭が参観しました。

午後からは、園内の教諭・小学校教諭・参観をしていない研究協力園の先生方や大学教員とハイブリッド(対面とオンライン併用)での対話型研修に挑戦しました。参観前に、「育ちの履歴(当園カリキュラム)」や今週の記録、環境の意図、当日の保育案を資料として配布することで、保育を実際に参観しなくても自分のこれまでの経験を振り返りながら対話を深めることが可能であり、むしろ写真を見ない方が視覚情報に引きずられない自分の言葉で語れることが確認できました。

一方で、教材など環境についての対話では写真の情報があると共有しやすいことも明らかになりました。

小学校や協力園、大学教員の先生方など、異文化をもつ他者との対話だからこそ保育の本質に触れる場面もありました。

今回の挑戦にご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

教材に触れよう 保育を語ろう —カンファレンス?協議会?

- 15:45~ 教材との対話
- 16:00~ 保育を語ろう の主旨説明
- 16:15~ 保育実践の振り返り—つき組・ほし組
- 16:35~ ラウンドテーブル
 - 1 | 子どもが何を面白いと感じていたのか
 - 2 | 自分はなぜその場面に注目したのか
- 17:30~ ラウンドテーブル 内容の共有
- 17:40~ ご参加いただいた先生方より一言
- 18:00 終了



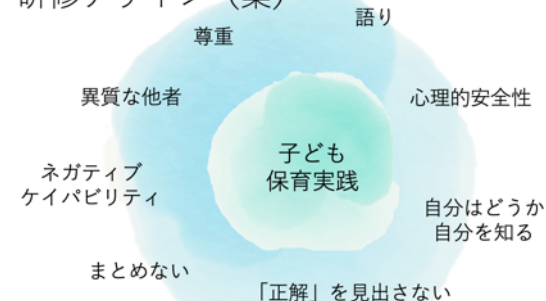
理論と実践

自分の言葉から立ち上げるということ

↓
実践主体が言語化ということは、
何かを捨象し、何かを抽象化すること

↓
対話による
実践主体の「理論」との齟齬や違和感を大切にすることで
自己の変化を意識し、次の実践をかたち創っていく

研修デザイン(案)



| 園児の子どもの姿 | 保育者 3歳児、3歳児 | 園長 園内実務 |
|---|---|---|
| <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> | <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> | <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> <p>3歳児の様子</p> |

保育実践の振り返り ~16:35

